

1 議会スケジュール

2/18(火) 開会

2/27(木)～3/5(水) 一般質問

3/ 6(木)～3/17(月) 予算審査特別委員会

18(火)・19(水) 各常任委員会

26(水) 閉会

2 提出議案等(計43件)

【当初提出】

報告 1件

予算議案 17件

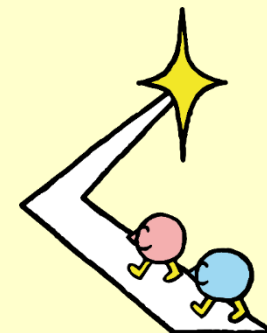
一般議案 11件

条例議案 13件

【追加提出】

人事議案 1件

令和7年度予算



くるめ
を
スス×。

「久留米が**実り**

久留米が**進む**」予算

一般会計総額 **1,593**億円

当初予算
過去最大

■ 市政運営方針/基本目標

「安心・安全で活力にあふれた誰もが生き活きと生活・活躍できる共生のまち」の実現

■ 令和7年度予算の特徴

● 原口市政1期目の総仕上げ 目標「実」現予算

市政運営方針4年目を迎える令和7年度は、基本目標の実現に向けた施策に、より重点的に取り組み、成果に繋がります。

● 10年後を見据えたまちづくりに踏み出す予算

令和8年度からスタートする次期総合計画に向けて、10年後を見据えたまちづくりへ歩みを進めます。

● 地域の発展を支えながら果敢に挑戦する予算

物価や賃金の高騰などに適切に対処しながらも、地域経済の好循環に繋げ、困難な重要課題に正面からしっかりと取り組みます。



■ 令和7年度予算の重点施策

1 安心・安全のまち

安心の避難環境整備、地域の安全対策

2 活力のあるまち

地域の核の整備、稼ぐ力の強化、賑わいの創出

3 生き活き共生のまち

こどももなか、暮らしのサポート、市民活動応援

令和7年度の一般会計は、過去最大の1,593億円

- 我が国は、デフレからインフレへの転換局面にあり、約30年ぶりの物価・賃金上昇に直面。久留米市の税収の見込は過去最大の435.4億円
 - 社会保障費やインフラ維持経費の増加、物価・賃金の高騰により財政需要が大幅に増大。
 - 行政システムの標準化対応や上津クリーンセンター更新など、市民生活に不可欠な大規模事業が進行。
- これらの課題に適切・的確に対応し、かつ将来的に持続可能で魅力的なまちづくりを進めるため、地方創生交付金などの積極的活用や基金活用の増額、事業の見直し等によって財源を確保。

	令和6年度	令和7年度	増減
予算	1,464億円	1,593億円	+ 129億円
税収	407億円	435.4億円	+ 28.4億円

①+②=1608.5億円

3月補正前倒し
15.5億円②

+

令和7年度予算
1,593億円①

国の補正予算等を活用し、令和7年度予算から3月補正予算に一部前倒しをしました。



安心して避難できる 環境整備

地域と連携し安心して避難できる
環境整備を推進。

新★ 地域独自運営避難所の設置支援

新★ 総合福祉会館に福祉避難所を整備
医療的ケアを必要とする人などが安心して
避難できる環境を整備

拡 地域と市との協働運営避難所の充実

○ 災害備蓄品等の購入



浸水対策の推進/ 災害からの復旧

浸水被害軽減に取り組むとともに
災害復旧も推進。

新★ そよ風ホールの災害復旧

新★ 安全で魅力ある森林の整備
災害に強い森林づくりの推進、森林や木に
ふれあう機会の創出

拡 みんなで流域治水、田んぼダムの拡大

○ 浸水対策の推進
浸水対策工事、排水機場の増設など



地域の安全対策

老朽インフラの安全対策や空き家
対策など地域の安全を確保。

拡 老朽インフラの安全対策の強化

拡 公園遊具・学校遊具の安全確保

拡 空き家の流通促進/老朽空き家除却

新★ 学校AEDの屋外への移設

新★ 若者の犯罪加担防止啓発

流域治水推進事業【3月補正予算、企業会計含む】

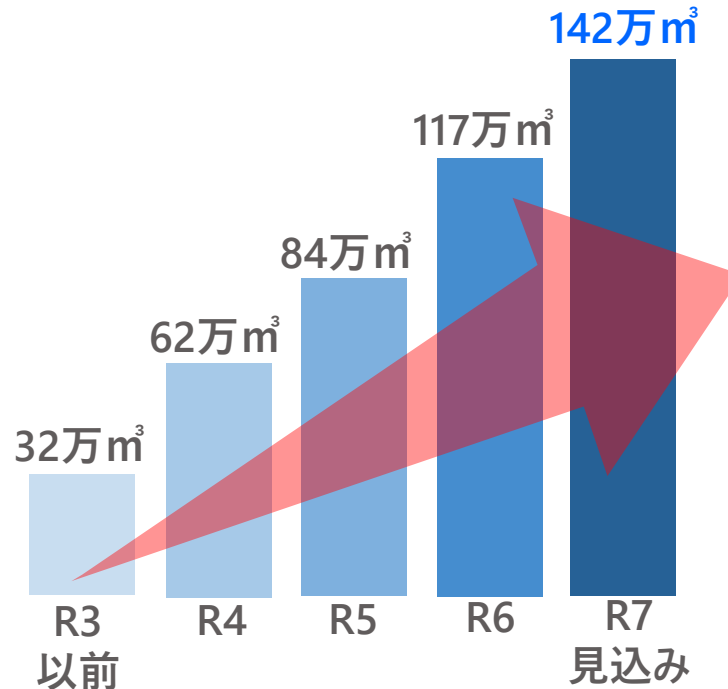
3,174,347千円

- ▶ 安全安心なまちづくりに欠かせない流域治水の推進について、引き続き最重要課題として国・県と連携して、自然災害への対策に取り組めます。

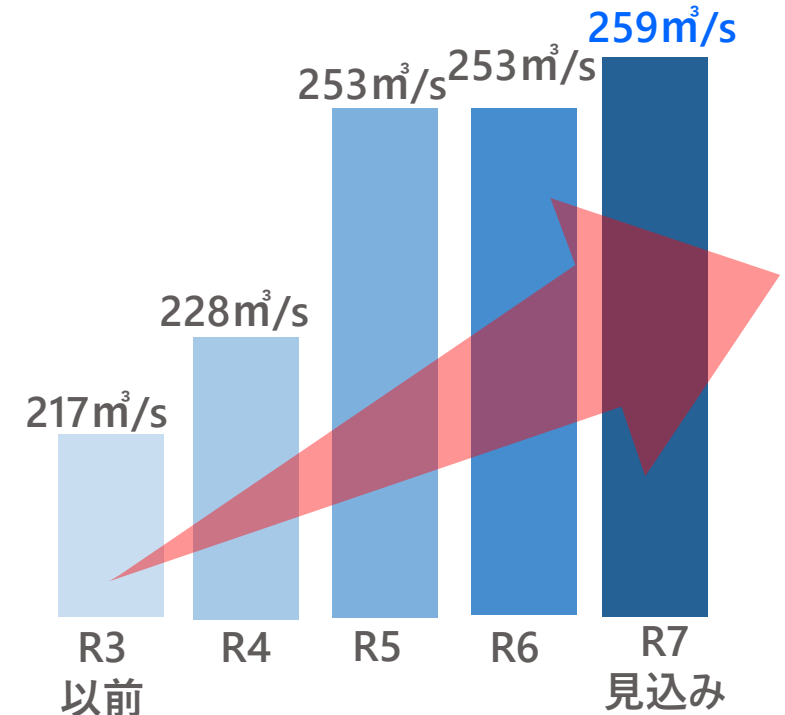
流域治水関連予算
4力年で **約170億円**

R7	32億
R6	40億
R5	57億
R4	41億

貯留機能は **約4.4倍**



排水機能は **約1.2倍**



防災対策強化事業

73,729千円

- ▶ 近年の豪雨災害や土砂災害を踏まえ、安心して避難できる環境整備のため、早期避難の呼びかけや地域独自運営避難所の設置支援、備蓄物資の充実などに取り組みます。

新 地域独自運営避難所の設置支援

3,500千円

自治会や校区コミュニティ組織等に対し、地域が独自に開設する避難所の確保や準備等に必要な経費を支援します。

拡 避難所の協働運営体制の充実

4,487千円

地域と市の協働による避難所運営体制を充実し、円滑な避難所運営を行います。

○ 災害備蓄品等の購入

12,379千円

食糧・生活用品の計画備蓄品のほか、災害対応資材を購入します。

新 総合福祉会館避難所整備事業

4,000千円

- ▶ 災害時に医療的ケアを必要とする人などが優先的に避難できる福祉避難所の開設に向けた環境整備を行います。

新 福祉避難所環境整備

1,959千円

避難所用テントやベッドの購入など医療的ケアを必要とする方が安心して避難できるよう環境整備を行います。

新 空調設備改修設計委託

2,041千円

空調設備を停電対応型の設備に更新するための改修の設計を行います。



新 そよ風ホールの災害復旧

22,015千円

- ▶ 令和5年7月大雨で被災した田主丸複合文化施設（そよ風ホール）の全館復旧に向け工事を実施するための設計を行います。

新 災害復旧工事実施設計業務

22,015千円

施設復旧及び水防対策の設計業務を実施します。



田主丸図書館仮出張所拡張

2,400千円

- ▶ 田主丸図書館閉館中の対応として開設している仮出張所の閲覧スペース拡充や配架数を増やし、地域住民への図書館サービスの充実を図ります。

新 森林ふれあい整備事業

17,509千円

▶ 多くの人々が森林や木にふれあう機会を創出するため、森林等の整備を行います。

新 田主丸町森部地区

11,000千円

令和5年7月の大雨で被災した地域の森林の間伐や遊歩道、水路の整備を行います。

新 森林つつじ公園

5,500千円

令和7年度から3か年で、ツツジの剪定とトイレの改修や身障者駐車場の整備等を行います。令和7年度は設計を行います。



森林つつじ公園

【拡】インフラ等の老朽化対策

1,014,924千円

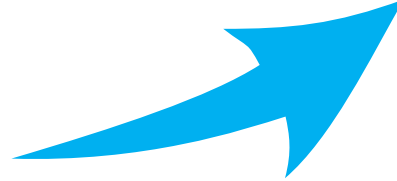
- ▶ 道路、河川、公園等のインフラや学校施設等の老朽化に対応するため、昨年度比40%増の予算を確保し、修繕や撤去などの安全対策を進めます。

R6年度 7.2億円

道路・河川等 5.9億円
学校 1.3億円



40%増



R7年度 10.1億円

道路・河川等 8.1億円
学校 2.0億円





地域の核の整備

地域の核を整備し
より便利に
より魅力的なまちに。

拡

早期のスマートIC整備に向けた
事業推進

拡

中心市街地の再整備
(JR久留米駅前再開発/
西鉄久留米駅周辺整備)



競輪場再整備事業の推進



大善寺駅前広場の整備/
宮の陣駅前の交通対策検討



まちの魅力の向上

新たな賑わいを創出し
久留米にしかない
魅力あるまちを実現。

新★

宿泊施設の魅力向上支援

新★

石橋文化センター開園
70周年プレ事業、庭園整備

拡

新たなイベント支援による
賑わいの創出

拡

スポーツMICEの誘致



地域産業・農業の 成長支援

地域の稼ぐ力を強化し
暮らしの豊かさや
地域の活力を創出。

新★

プロ人材を活用した中小企業の
成長支援

拡
新★

バイオコミュニティの首都圏でのPR/
若年層向け創業人材育成



新産業団地の整備

新★

遊休農地の再生支援

拡

スマート農業の推進



拡

6次産業化・農商工連携
商品PRの強化

スマートIC整備事業

195,599千円

- ▶ 災害時における広域的な代替ルートの確保など、幹線道路網の強化を図るため、NEXCO西日本と共同で久留米南スマートインターチェンジ（仮称）を整備します。

久留米南スマートインターチェンジ（仮称）

令和6年9月に国土交通省より新規事業化箇所決定されました。久留米ICから4.6km、広川ICから3.2kmの位置を予定しています。

これを起爆剤に、新たな企業誘致、雇用の確保、防災機能の強化に取り組んでいきます。

スマートIC設置で期待される効果

- 物流産業の振興
- 救急医療の強化
- 防災機能の強化
- 観光の振興



中心市街地再整備事業

1,357,265千円

- ▶ 中心市街地地区を対象に健全な土地利用、新たな都市空間の創出及び中心市街地定住促進のための環境整備を行います。

○ JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業 1,329,137千円

整備内容：【住宅棟】鉄筋コンクリート造36階建
分譲マンション458戸（一般343戸、シニア115戸）

【商業棟】鉄骨造2階建

【駐輪場棟】鉄骨造2階建

工事期間：令和9年3月竣工予定

○ 西鉄久留米駅周辺整備事業 25,480千円

西鉄久留米駅周辺における交通結節機能の強化や人中心のまちづくりに取り組みます。



JR久留米駅前再開発完成イメージ図

地域企業経営力強化促進事業

26,843千円

- ▶ 地域企業の持続的な発展と成長を実現するため、経済環境の変化に対応した経営基盤の強化やデジタル技術を活用した生産性向上などに取り組む事業者を支援します。

○ 中小企業DX促進事業

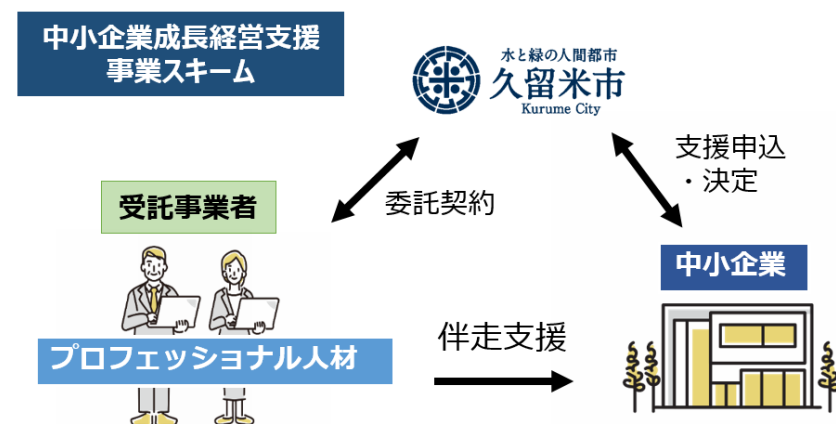
8,600千円

事業者のデジタル技術を活用した取組を促進するため、専門家による経営課題の整理とデジタル活用の提案を行うとともに、導入経費の一部を補助します。

新 中小企業成長経営支援事業

9,800千円

事業者の成長段階に応じた課題を解消し、さらなる成長を促進するため、外部のプロフェッショナル人材による伴走支援を実施します。



新 農地利活用推進事業

10,601千円

- ▶ 久留米市の農業の維持・発展を図るため、農地利利用の姿を明確化し、効率的・総合的な農地の維持と利活用を推進します。

○ 地域計画推進事業

601千円

将来の地域農業や農地利利用の姿を明確化する「地域計画」を効果的に推進するため、農業者や農業関係団体と意見交換を行います。

新 遊休農地再生事業

10,000千円

認定農業者等の地域農業の担い手が、営農のため新たに取得・貸借をした遊休農地の再生作業に係る経費の一部を支援します。

補助率2分の1 上限100万円

集落営農法人による再生、有害鳥獣対策に関する再生、再生後「米・麦・大豆」などの土地利用型農業を実施する場合、補助率2分の1 上限150万円



再生後のそば畑

MICE誘致推進事業

44,019千円

▶ 地域に幅広い経済波及効果や社会的効果をもたらす、MICEの積極的かつ戦略的な誘致を行います。

○ コンベンション開催支援助成金 10,677千円

新 宿泊施設魅力向上支援事業費補助金 12,000千円

観光の拠点となる宿泊施設の魅力向上を図るため、設備投資や生産性向上の取組を支援します。

○ 大規模スポーツ大会誘致 14,772千円

市スポーツ協会や競技団体と連携して上部団体等への誘致活動や、県との情報交換などに取り組みます。



シティプラザでの学会開催



ユース・エス・イーカップ国際女子テニス

新 石橋文化センター開園70周年に向けて**105,104千円**

- ▶ 令和8年の石橋文化センター開園70周年に向け、回遊性の向上のため園内の整備を行うとともに、文化ホールにおける子ども向け鑑賞事業の拡充などを行います。

新 石橋文化センター園内バリアフリー整備**100,404千円**

センターの魅力を高めるため、子ども連れの方や高齢者などが安心して園内を散策できるよう、回遊性向上につながる整備を行います。

- ・庭園スロープ設置

急こう配の園路横にスロープを設置します。

- ・園路の舗装

池の周囲の砂利敷の園路を舗装します。

新 石橋文化センター70周年プレ事業**4,700千円**

子ども向けコンサートの実施や、70周年記念動画作成を行います。



石橋文化センター



こどもまんなか 社会の実現

こどもや若者が
健やかに成長できる
環境を整備。

新★ こども誰でも通園制度
先行スタート

国基準 2 倍となる月 20 時間の利用支援

拡 **新**★ 日本語サポートが必要な
こどもへの支援 

拡 学校・保育所等給食費支援

 文化芸術・スポーツなど
こどもの体験機会の創出



安心の教育環境 整備

児童生徒が安心して
学べる環境を充実。

新★ CBTプログラム導入 
学力の保障と向上を目指し、
学習用端末を活用したテスト等を実施

新★ 水泳授業の民間プール活用

拡 不登校児童生徒の多様な
学びの支援 
支援員の増員や学習支援アプリ導入・
フリースクール等利用支援



シニアの安心な 暮らしをサポート

健康と生きがいをもって
生活できる環境を
整備。

新★ 気軽にできる認知機能検査
VRを活用した認知機能検査と
トレーニングプログラムを導入

新★ 带状疱疹予防接種の実施

拡 通いの場の拡大
認知症カフェや地域介護予防の活動の
場を拡大



市民活動の促進/ 支援を要する 世帯へのサポート

市民活動のさらなる
活性化を図るとともに、
誰もが活き活きと
暮らせるまちに。

新★ 持続可能な市民活動の支援
多様な資金確保に向けた伴走支援/
民間資金を活用した仕組みづくり

新★ 支え合う地域づくりの推進
多様な形で市民参画を促進する
コミュニケーションプログラムの開発

拡 **新**★ 支援を要する世帯等に対する
多方面からのサポート

新 こども誰でも通園制度準備事業

10,714千円

- ▶ 全てのこどもの育ちを応援するとともに、働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、令和8年度の全国での制度開始の準備や先行実施を行います。

<こども誰でも通園制度>

保護者が就労していなくても、一定時間の範囲内でこどもが保育所等に通園できる制度

<令和7年度先行実施案>

こどもの成長をより手厚く支えるとともに、保護者が抱える孤立感・不安感の解消と負担軽減を図るため、市独自で利用時間の上乗せをします。

- ◆実施施設 3施設
- ◆利用時間 月20時間
- ◆対象児童 国制度10時間に市独自で10時間上乗せ
保育所等に通っていない6か月から満3歳未満のこども



日本語支援サポート事業

18,316千円

- ▶ 外国にルーツを持つなど日本語教育が必要な児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、一人ひとりの状況に応じた日本語習得やコミュニケーションを行うための支援を行います。

新 日本語支援コーディネーター

4,404千円

教員やサポーターへの研修、学校の日本語教育支援等を行います。

新 日本語学習アプリ

2,700千円

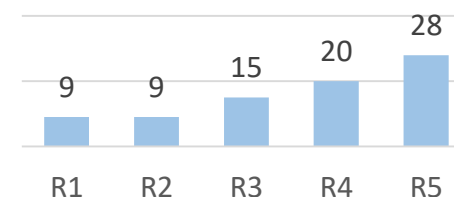
児童生徒一人ひとりの状況に対応できる日本語学習アプリを導入します。

新 日本語初期集中講座

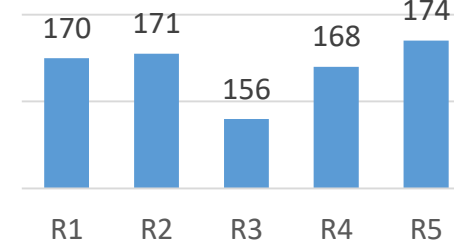
297千円

初歩的な日本語習得を目指し、長期休業を利用した集中講座を実施します。

日本語が全くできない人数(小中合計)



日本語指導を必要とする人数(小中合計)



新 保育所等翻訳機導入支援

1,733千円

- ▶ 保育所等に対し、外国にルーツをもつ子どもや保護者とのやりとりに必要な通訳・翻訳機器の購入費用の助成を行います。

給食支援事業【3月補正含む】

425,323千円

▶ 食材価格が高騰する中、子ども達の成長に相応しい給食を提供するため、令和7年度も引き続き給食費の支援を行います。

拡 学校給食支援事業

328,910千円

令和5年度以降の給食費改定による増加額の全額を支援します。

令和7年度支援額 小学校等 月額1,000円 中学校等 月額1,600円

小学校等	R4	R5、R6	R7	R8予定	中学校等	R4	R5、R6	R7	R8予定
給食費	4,100円	4,600円	5,100円	5,100円	給食費	4,600円	5,600円	6,200円	6,200円
市の支援		500円	1,000円	500円	市の支援		1,000円	1,600円	800円
保護者負担	4,100円	4,100円	4,100円	4,600円	保護者負担	4,600円	4,600円	4,600円	5,400円

※小学校等には特別支援学校小学部、中学校等には中学部と高等部を含む。

○ 保育所等給食支援事業【3月補正】

96,413千円

子どもを対象にした文化事業

26,227千円

- ▶ 市民の文化芸術に対する意欲の高揚・市の文化芸術の発展のため、子どもたちが本物の文化芸術に触れる機会の提供を行います。

○ 子どもの文化芸術体験機会創出 23,692千円

鑑賞機会の提供や小中・特別支援学校に芸術家の派遣、アウトリーチの取組などを通じて、子どもたちが本物の文化芸術に触れる機会を提供します。

新 青木繁記念高校生美術公募展補助金（仮称） 335千円

令和8年度より九州圏内の高校生を対象とした美術公募展を開催することとしこれに向けた準備を進めます。

新 文化センター70周年プレ事業【再掲、子ども向けのみ】 2,200千円

ミュージアムコンサートforキッズ、こどもオペラ



こども・若者の居場所づくり

6,561千円

- ▶ こども・若者が将来にわたって幸せな状態で成長するために、安全で安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます。

新 若者の居場所づくり事業

500千円

若者の居場所づくりに係る調査研究や、悩みを抱える若者等を主な対象に、交流の場や仲間づくりのサポートを行います。

○ こども食堂事業費補助金

5,980千円



拡 子どもの学習・生活支援事業

16,430千円

- ▶ 将来的な社会的・経済的自立を図るため、生活保護世帯、生活困窮世帯の子どもの就学・進学に係る相談・支援の対象を高校生までに拡充します。

小・中学校くるめ学力アップ推進事業

22,329千円

- ▶ 基礎的・基本的な学習内容の習得や学習習慣の定着、学習意欲の向上を図るため、ICTを活用したテストとフォロー学習を一体的に行う学力向上プログラムを実施します。

新 くるめチャレンジCBTプログラム（小学校） 9,308千円

新 くるめマスターCBTプログラム（中学校） 7,601千円

CBTプログラム

	小学校	中学校
対象学年	3～6年生	1～2年生
教科	国語・算数	数学
実施時期	各学期末	重要単元学習後

CBT（Computer Based Testing）

コンピュータを利用した試験方式です。
従来の紙試験方式では時間を要していた、
採点や結果のフィードバック、学力分析の迅速化が見込まれます。

新 小学校水泳授業民間プール活用事業

17,756千円

▶安全安心な水泳授業の実施、児童の泳力向上、教職員の負担軽減等を図るため、民間プールを活用した授業を計画的に進めます。

**新 水泳授業支援業務委託料
（インストラクター指導・バス送迎等）**

17,756千円

民間プールの活用計画（R8以降は予定）

	R7	R8	R9	R10	R11
学校数	6校	5校	5校	5校	5校
累計	6校	11校	16校	21校	26校



不登校に関する総合的な支援

97,156千円

▶ 不登校児童生徒の将来に向けた社会的自立を目指し、「居場所づくり」「学習支援」「相談体制」の3つの柱に沿って、子ども一人ひとりの状況やステージに応じた支援を行います。

新 ICTを活用した学習支援

6,111千円

不登校児童生徒が安心してオンライン学習やコミュニケーションができるICT環境を整備するとともに、支援サポーターがアドバイスや心理的サポートを行います。

新 フリースクール等利用児童生徒支援

900千円

保護者負担の軽減を図るため、フリースクールの利用開始にかかる費用を助成します。

新 定時制・通信制高校等説明会の実施

149千円

拡 小学校における児童支援サポーター配置

31,730千円

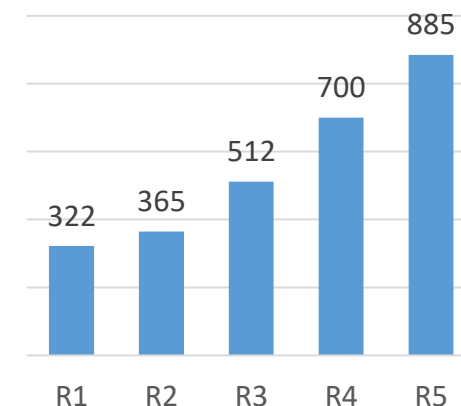
○ 中学校における校内教育支援教室の設置

43,799千円

○ 教育支援教室らるご久留米の運営

13,960千円

不登校人数の推移
(小中合計)



■ 拡 認知症に関する総合対策

32,800千円

▶ 認知症の早期発見、発症・進行予防や、相談対応など、総合的な対策を行います。

■ 新 認知症検査とトレーニング

12,221千円

VRを活用した認知機能検査とトレーニングプログラムを導入し、早期発見・対応を行います。



視線の動きにより認知機能を測定するVR機器

■ 拡 認知症カフェの支援

6,039千円

認知症の人やその家族が安心して過ごせる場所として、認知症カフェの開設・運営を支援します。

○ 認知症初期集中支援

9,377千円

認知症（疑い含む）の高齢者が、できる限り住み慣れた地域で暮らしていくために、医師等からなるチームが集中的に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行います。



持続可能な市民活動推進事業

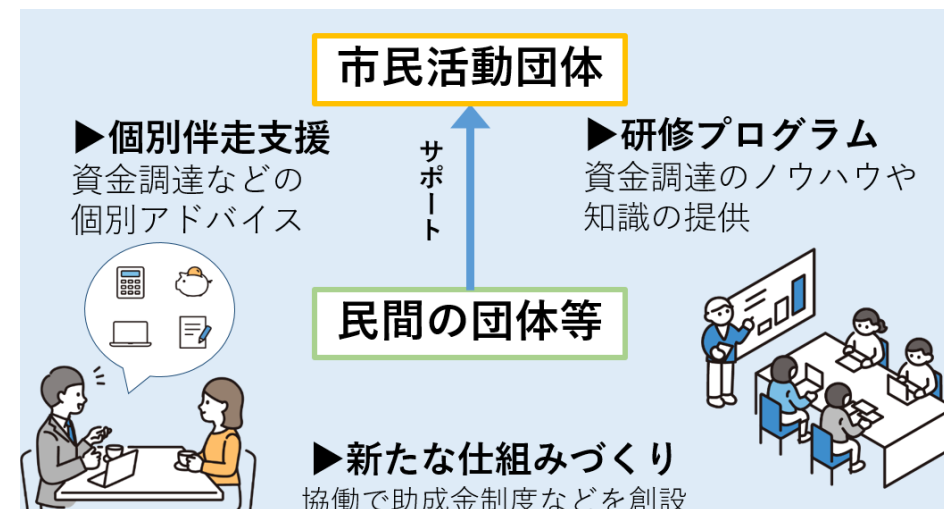
8,262千円

- ▶ 市民活動のさらなる活性化を図り、持続可能な活動とするため、民間資金の活用やクラウドファンディングなど、市民活動の実態に応じた多様な資金確保を促進します。

新 市民活動・多様な資金調達応援事業

民間団体等との協働により、研修プログラム作成や個別伴走支援、民間資金を活用した新たな仕組みづくりを行います。

2,300千円



拡 市民活動応援クラウドファンディング事業

市民活動団体と市との協働により、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施します。

5,962千円

DV対策支援事業

6,025千円

- ▶ 久留米市DV対策基本計画に基づき、DV被害者の安全確保と自立支援のため、民間支援団体が実施する支援活動への補助を行います。

新 オープンシェルター設置及び運営費補助

2,993千円

DV被害者支援を強化するため、DV等から避難する決断に至っていない被害女性を一時的に保護・支援する施設の設置を支援します。

オープンシェルター

従来のシェルターから利用要件等を緩和し、今まで支援につながらなかった被害女性に対し、居場所及び相談支援を提供する施設のことです。

新 母子生活支援事業

9,686千円

- ▶ 7年度末の母子生活支援施設の廃止に向けて、母子等の住居や一時保護先を確保するとともに、訪問などによる支援を実施します。

DX推進事業

1,720,905千円

- ▶ 地方公共団体情報システム標準化法に基づき、情報システムの標準化・クラウド化を推進します。また、職員間の新たなコミュニケーションツールを導入します。

○情報システムの標準化・クラウド化 1,711,944千円

新 ビジネスチャットの導入 8,132千円

職員間の新たなコミュニケーションツールを導入し、生産性の向上を促進します。

新 開発・建築・道水路情報管理システム統合 41,403千円

- ▶ 市民や事業者が「窓口に行かなくて良い」、「窓口で情報取得・相談しやすい」環境を実現するため、システムの統合、オンライン申請導入などの窓口改革に取り組みます。

新 システム統合業務委託料 32,063千円

新 AI活用個人情報消去委託料 1,960千円

コンソーシアム久留米と連携し、行政課題の解消を将来の久留米を担う学生と協働で行います。

物価高騰対策【3月補正含む】

880,408千円

▶ 物価高騰の影響を緩和するため、各種支援策を実施します。

○ 商業活性化事業(プレミアム商品券) 156,000千円

物価高騰の中、地域経済の活性化を図るため、県と連携し、商工団体が発行する商品券（プレミアム分）に対し補助を行います。

● 給食支援事業【再掲、一部3月補正】 425,323千円

食材価格が高騰する中、子ども達の成長に相応しい給食を提供するために給食費の一部を支援します。

○ 高齢者福祉施設、保育所等への支援【3月補正】 299,085千円

エネルギー・食料品価格等の高騰の影響を受けた高齢者福祉施設、障害者福祉施設、保育所等に対して支援を行います。